

瀬田川プランクトン調査結果速報

～第50報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係
令和4年3月14日

1.最も数が多かった種類(優占種)

植物プランクトン第1優占種



Cryptomonas sp.
(クリプトモナス)
褐色鞭毛藻綱

体はやや扁平な長楕円形で、頂端は凹んで発達した陥入部を形成している。陥入部から伸びたほぼ等しい長さの2本の鞭毛を使って、進行方向を軸にして回転しながら泳ぐ。大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、オリーブ色などさまざまである。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
ワムシ類

体は四角く、4カ所に3本ずつ鳥の羽状の付属物を有する。前部に2本の触角がある。琵琶湖、瀬田川で見られるワムシのなかまの中で最も多く見られる種類である。

2.計数された異臭味原因プランクトン



Phormidium tenue

コメント

植物プランクトンは今週も少なく、褐色鞭毛藻に属するクリプトモナス (*Cryptomonas* sp.) が先週に引き続き細胞数、体積いずれで見ても優占種となった。網別の体積では、褐色鞭毛藻綱が総体積の約55%、珪藻綱が約26%、黄色鞭毛藻綱が約11%を占めた。動物プランクトンはワムシ類に属するハネウデワムシ (*Polyarthra vulgaris*) が320個体/Lで先週に引き続き優占種となった。ピコ植物プランクトンは今週も少なく2,500細胞/mLとなり、輝橙色のものが83%、深赤色のものが17%であった。かび臭の原因となるフォルミディウム テヌエ (*Phormidium tenue*、物質:2-MIB) が約1か月ぶりに計数され、60群体/mLであった。

3.計数された主なプランクトンとその数(個体数)

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		(個体/L)
ワムシ類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	320

第 2 優 占 種		(個体/L)
ワムシ類	<i>Kellicottia longispina</i>	140

* 個体数は、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係

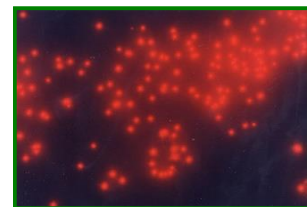
(2) 植物プランクトン

令和4年3月14日

第50報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *★	60	○	
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	12		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion</i> sp.	40		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	80		
(珪) <i>Melosira varians</i>	8		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	12		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	6		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	100		
(珪) <i>Stephanodiscus pseudosuzukii</i>	20		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	12		
(珪) <i>Asterionella gracillima</i>	24		
(珪) <i>Synedra ulna</i>	1		
(珪) <i>Synedra acus</i>	15		○
(珪) <i>Navicula</i> sp.	20		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	4		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	80		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	40		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	20	◎	◎
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	200		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	100		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	16	○	
(藍) 藍藻綱	60	6.9	2.4
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	132	15.2	11.2
(珪) 珪藻綱	342	39.3	26.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	2.3	4.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	300	34.5	55.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	16	1.8	1.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	870	総体積 (μm^3)	6.47E+05
種 類 数	21		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)
ただし*印の種は群体数(群体/mL)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
注3) ★: 異臭味原因プランクトン
注4) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	細胞数/mL
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	2,500

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2 μm (1 μm は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。